



好學愛知
自律敬實
自質剛健

鶴信

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.htm>

思ひやりの心
教頭 神田芳文

「寒いね」と話しかければ
「寒いね」と応える人のいる
暖かさ

一昨年、數学者でお茶の水女子大学教授の藤原正彦氏の「國家の品格」が大ベストセラーとなり、当時の安部晋三総理大臣が子供たちの世代が自信と誇りを持てる美しい国・日本を国民と一緒に創り上げていくことを提唱したことは私たちの記憶に新しい。両者に共通していたことは、日本社会の荒廃を愁え、日本文化の中にある失われつつある「或いは失われた」ものの復活と再生をを目指していた点にある。よく言われる「個性の尊重」と「わがまま」をきちんと区別してこなかった結果、日本人の心に自己中心的な考えが生じ、他人を思いやる心がなくなってきたというのだ。こうなった責任の大半は、大人の側にあることは確かである。

興味あることだけを伸ばせばよいとか、誉めるなどだけが大切と子どもにおもねっていなかつたか。物事には、理屈だけでは解決できないこともあらうのに、子供に対して全ての物事を論理的に解決しようとする親の姿勢はなかつたか等々、自戒も込めて考えさせられるところである。世の中には、好き嫌いを超えて、子供の時に教えまなづけなければならぬことというものがある。それをおなごりにした結果が。。。

同様に、今やつておかなければならないことというものもある。その一つが学問である。昨年、一年生向けの講演会で、OBの一人が「あとになって、『やつておけば良かった』と思うのではなく、『やつていてよかった』」と思えるようにならなければならない」という話をしてくれた。今は、何のために学ぶのか理解できなくて、とであつても、いずれ何かの役に立つこともあるのである。物事を全て合理的に割り切るだけではなく、今はしつかりと足元を踏み固めていくことが大切なことだと思う。

話を元に戻すが、将来、日本を背負つて立つことになる生徒諸君には、本校の校はである「フォア・アザーズ」の生徒間違すべく、他を想いやり、自己犠牲をいとわない人間になつて欲しいと考える。また、「他人の痛みを自分の痛みとして捉える」という言葉なども座右の銘の一つに加えて、心に刻んでおいてもらいたいものである。

ところで、冒頭の俵方智の歌は、趣向は異なるが「咳をしても一人」と諱んだ漂白の俳人・尾崎放哉の句と対照的で、温もりに満ち、相手を思いやる気持ちに溢れている。

お互いが、見えないところで助け合い、さりげないものである。

音楽部壮行演奏会

（防犯教室をとおして）
3月12日（水）、体育館で防犯教室が開かれた。講師は鹿児島西警察署の生環境課の花田氏と技師の塚氏で、携帯電話・インターネットを利用してしたハイク犯罪について、詳しく話してくださいました。現代社会の問題でもあるハイテク犯罪は、高校生が被害者に正しく情報機器の使い方を学び、犯する情報を取捨選択する力が必要である。ぜひ、身近なこととして考えて欲しい。

これからは互いが安心して生活するためにも正しい情報機器の使い方を学び、犯す情報を取捨選択する力が必要である。ぜひ、身近なこととして考えて欲しい。

（～平成20年度異動発表～）

平成二十年度定期人事異動が発表されました。転退職の先生方は次の通りです。

事務長 久保安悦 定年退職
教頭 上松博造 川内高校 第一教頭
国語科 後藤哲哉 期付退職
図書室員 山元正広 大島高校
数学科 森永徳雄 加世田高校 教頭
数学科 塘伸一郎 伊集院高校
理科 川口尚人 川内高校
英語科 春山 隆 川辺高校
英語科 古川 一樹 鹿屋高校
実習教師 南濱一恵 川薩清修館高校
事務次長 末永哲郎 種子島中央高校 事務
事務主事 川野祥嗣 川内高校
保健科 田山 慶 伊集院高校
期付退職

保護者による学校評価の結果報告

保護者による学校評価を始めて3年になります。目的は学校運営や教育活動についてその成果や問題点をあきらかにし、保護者のニーズを把握することで、日常の教育活動を改善するとともに、学校に対する保護者の理解や関心を深めていだくことがあります。

アンケートは生徒を通じて保護者全員に記入についての説明用紙とマークシートを配付しました。各項目を1～4の4段階で評価し、裏面に意見や改善策について記入していただきました。

集計結果では、20項目中18項目で”1：とうに当てる”2：やや当てはまる”と、いう肯定的評価を80%以上の保護者の方にいたしました。学年の特性もありますが、一般に学年が上がるにつれて評価が高くなっているようです。

特に評価が高かった項目は、次の項目です。

1 文化祭・体育祭など、諸行事に生徒が積極的に関わっている。	97%
2 建学の理念（校訓）は日々の教育に生かされている。	97%
3 信頼できる友人が多く、良い刺激を受けている。	95%

逆に評価が低かった項目は、次の項目です。

1 それぞれの能力に応じて成績を伸ばす適切な学習指導がなされている。	72%
2 部活動と学習の両立が上手くなされている。	77%

保護者の方からは、50以上の貴重な御意見や改善策をいただきました。昨年度いただいた宿題の量の問題については校内で何度も話し合いがなされました。今回評価の低かった項目についてもいくつかの御意見をいただいております。これらを参考にして各課各学年で検討し改善を図りたいと考えています。なお、詳しくは5月のPTA総会で改めて御報告いたします。